

POS 型医療の構築

責任者名：岡田 明子(口腔診断学 准教授)

学期：前期

対象学年：5 年

授業形式等：演習

◆担当教員

岡田 明子(口腔内科学 教授)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

中島 一郎(医療人間科学 教授)

尾崎 哲則(医療人間科学 兼任講師)

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

松本 邦史(歯科放射線学 准教授)

篠崎 貴弘(口腔内科学 専任講師)

小笹 佳奈(口腔内科学 助教)

蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 専任講師)

篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 専任講師)

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)

◆一般目標 (GIO)

Problem Oriented System (POS) に則った医療情報の収集、診断、治療方針の考え方を習得するために、患者の有する問題を患者単位で全人的・包括的に把握、整理し、その問題解決の対策としての治療方針を立てる道程を理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ① POS の概念に基づいた医療面接、口腔内外診査、検査オーダーを行うことができる。
- ② 医療面接、診査、検査を通して得られた情報から、患者さんが有する問題点を列挙することができる。
- ③ 患者さんが有する個々の問題点を、個別に評価し診断することができる。
- ④ 患者さんが有する個々の問題点に対する対応（治療法）を述べることができる。
- ⑤ POS の概念に基づき、個々の問題点について治療の優先順位を説明できる。
- ⑥ 包括的な治療方針を立てることができる。
- ⑦ 治療内容について、患者さんに説明を行い、インフォームドコンセントを得ることができる。

◆評価方法

2 回の平常試験の平均（各平常試験 50% で計 100%）で評価する。よって、毎回の授業にしっかりと取り組むこと。平常試験の内容は、次回の講義でフィードバック（解説）を行う。講義の欠席は成績から減点とする。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間 ・ 場所など	メールアドレス・連絡先	備考
岡田 明子	水曜日 17:00-18:00 口腔内科学講座研究室	okada.akiko1@niohn-u.ac.jp	要予約

中島 一郎	月曜日 17:00-18:00 医療人間科学教授室	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	
尾崎 哲則	授業終了後に受け付ける。	ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp	
紙本 篤	授業終了後に受け付ける。	kamimoto.atsushi@nihon-u.ac.jp	
松本 邦史	月曜日 17:00-18:00 歯科放射線学講座研究室	matsumoto.kunihito@nihon-u.ac.jp	
篠崎 貴弘	水曜日 17:00-18:00 口腔内科学講座研究室	shinozaki.takahiro@nihon-u.ac.jp	
蓮池 聡	金曜日 17:00-18:00 歯科保存学Ⅲ研究室	hasuike.akira@nihon-u.ac.jp	
篠塚 啓二	月曜日 17:00-18:00 口腔外科学第Ⅰ講座医局	shinozuka.keiji@nihon-u.ac.jp	
安田 裕康	火曜日 17:00-18:00 歯科補綴第Ⅱ講座医局	yasuda.hiroyasu@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

講義・演習形式で行い、プロブレムオリエンテッドシステム（POS: 問題志向型診療システム）について講義を通して理解を深める。POS型医療の構築の講義は、資料を配布してその資料を基に進めていく。皆さんが診療参加型実習で用いる初診患者のPOS型実習診療録（POR）に基づいて講義・演習を行うので、十分に予習、復習を行うように心がけること。配布資料（模擬患者データ）とビデオ視聴を通して医療面接、口腔内外診査、画像診査、診断、治療計画、治療までを学修する。

平常試験を実施し、次の講義時間内に解説を実施する。

【実務経験】（岡田明子）歯科医師としての経験は25年以上であり、主に初診患者の診察と診断、治療に携わってきた経験から、患者中心の医療面接、診査診断、治療方針の立案に関して十分な経験に立脚した指導が可能である。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント			配布	
pdfファイル			WEB共有	

◆DP・CP

[DP-2] コンピテンス：世界の現状を理解し、説明する力

コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し、地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

[DP-4] コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-5] コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[DP-8] コンピテンス：省察力

コンピテンシー：プロフェッショナルとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高めることができる。

[CP-1] 歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP-2] 国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し、基礎・臨床・社会医学の知識を基に、国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。

[CP-3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP-4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP-6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

[CP-7] 歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

POS型医療では、初診から終診まで一連の流れをと計画して診療に当たるので、4年次までに習った各疾患の病態をしっかり復習しておくこと。

◆準備学習時間

授業の資料の多くは、事前に配布資料によって共有するので、授業時間の半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

すべての臨床系教科

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.8	6	【対面】 1. POS型医療の基礎 1) POSとは何か	・ Problem Oriented System (POS) の目的とするところを述べる ことができる。 ・ POS と Disease Oriented System (DOS) との違いを明確に述べる ことができる。 ・ 診療参加型実習での POS の意義を説明できる。	岡田 明子	A-1-1) 医の倫理と生命倫理

2		4.8	7	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>2) POR の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Problem Oriented Record (POR) の構造を説明できる。 ・ POS における診療の流れを説明できる。 ・ 医療における POR の意義を説明できる。 ・ 情報収集の基本的な記載方法を述べることができる。 	中島 一郎	E-1-1) 診察の基本
3		4.8	8	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>1) POS における医療面接</p> <p>(1) 問診表ならびに紹介状の情報収集</p> <p>(2) 主訴と現病歴の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問診表ならびに紹介状の情報を整理して把握できる。 ・ 患者の主訴を正しく把握できる。 ・ 主訴に関する病歴を正しく評価できる。 	岡田 明子 小笹 佳奈	E-1-1) 診察の基本
4		4.15	6	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>1) POS における医療面接</p> <p>3) 既往歴と家族歴、生活歴の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既往歴、家族歴、生活歴を正しく捉えることができる。 ・ 主訴の治療に影響を与える歯科的既往歴を把握することができる。 ・ 歯科治療を行う上で問題となる全身既往歴を聴取できる。 ・ 患者の口腔症状、全身症状に影響を与える家族歴、生活歴を聴取することができる。 	岡田 明子 小笹 佳奈	E-1-1) 診察の基本
5		4.15	7	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>2) POS における診査</p> <p>(1) 口腔外診査所見から何を考えるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体幹および四肢に現れる主要な徴候や病態を把握することができる。 ・ 体幹、上肢および下肢の診査ができる。 ・ 頭部・顔面の所見について診査ができる。 ・ 特に顔面の所見については、歯科疾患と関連の深い所見について詳細に診査することができる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本
6		4.15	8	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ う蝕について診査ができる。 ・ 打診を行うことができる。 ・ 温度診を行うことができる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本

				<p>2) POS における診査</p> <p>(2) 口腔内診査 (歯質・歯髄・歯周所見) から何を考えるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯髄電気診を行うことができる。 ・骨植、動揺の診査を行うことができる。 ・歯牙の植立状態と咬合について診査を行うことができる。 ・歯周組織について診査を行うことができる。 		
7		4.22	6	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>2) POS における診査</p> <p>(3)口腔内診査 (口腔粘膜と軟組織所見) から何を考えるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・舌、口唇、頬粘膜、口腔底、口蓋、咽頭の問題点を視診により指摘できる。 ・口唇、舌、頬、咽頭の運動についての機能的な問題点を診査により指摘できる。 ・唾液腺の診査を行うことができる。 ・感覚検査から問題点を指摘できる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本
8		4.22	7	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>3) POS における検査</p> <p>(1) POS に必要な各種検査</p> <p>口臭検査、味覚検査、唾液量検査、アレルギー検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口臭検査の種類と検査法を説明することができる。 ・味覚検査の類と検査法を説明することができる。 ・口腔乾燥の診査を行うことができる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本
9		4.22	8	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>3) POS における検査</p> <p>(2) POS に必要な血液検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科治療を行う上で必要な検査項目を把握する。 ・血液検査 (血算、生化学など) のデータ解析ができる。 ・頻繁にみられる合併症の特徴的なデータを読みとることができる。 	岡田 明子	E-1-1) 診察の基本
10		5.6	6	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>3) POS における</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エックス線検査、医科用・歯科用 CT、MRI、超音波検査および核医学検査の特徴と適応について説明することができる。 	松本 邦史	E-1-2) 画像検査を用いた診断

				検査 (3) POSに必要な 画像検査		
11		5.6	7	【対面】 1. POS型医療の 基礎 3) POSにおける 検査 (4) POSに必要な 画像検査の応用	・症状を訴える患者の主訴に結びつくエックス線写真を得る撮影法が選択できる。 ・初診時に撮影したエックス線写真から患者の主訴に結びつく所見を抽出することができる。	松本 邦史 E-1-2) 画像検査を用いた診断
12		5.6	8	【対面】 1. POS型医療の 基礎 3) POSにおける 検査 (5) 心身医学的検査	・心理学的検査法の種類を説明することができる。 ・医療面接から得られた心理的問題点を挙げるすることができる。	篠崎 貴弘 E-1-1) 診察の基本
13		5.13	6	【対面】 1. POS型医療の 基礎 4) PORの作成 (1) 問題点のリストアップ (2) 個々の問題点に対する診断	・主訴に関わる問題点を明示できる。 ・主訴以外の愁訴を挙げるができる。 ・医療面接から得られた問題点を挙げるができる。 ・診査・検査から得られた問題点を挙げるができる。 ・歯科治療を行う上での全身的な問題点を挙げるができる。 ・個々の問題点に対する診断を挙げるができる。	岡田 明子 E-1-1) 診察の基本
14		5.13	7	【対面】 1. POS型医療の 基礎 5) 総合治療計画の 立て方	・診断結果や社会的問題により総合治療計画を立案するプロセスを説明することができる。 ・プロブレムリスト、プロブレムマップの作成法について述べるができる。 ・プロブレムリストから治療方針と治療の優先順位を決めることができる。	紙本 篤 E-1-1) 診察の基本

15	5.13	8	<p>【対面】</p> <p>1. POS 型医療の基礎</p> <p>6) 治療方針の決定・インフォームドコンセント</p> <p>7) 紹介状、照会状の書き方</p> <p>8) クリニカルパス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントについて理解し、説明することができる。 ・治療に際して必要な項目について他科主治医の意見を求めることができる。 ・紹介状、照会状に必要な記載項目を理解して説明することができる。 ・他科に対して必要な治療を依頼することができる。 ・クリニカルパスについて説明することができる。 	岡田 明子	E-1-1) 診察の基本
16	5.20	6	<p>【対面】</p> <p>平常試験 1</p> <p>POS 型医療の基礎に対する平常試験</p>	第 1 回から第 15 回までの理解度を確認するため平常試験を行う。	岡田 明子	
17	5.20	7	<p>【対面】</p> <p>平常試験 1 の解説</p>	・平常試験の解説によりフィードバックを行い、授業内容の理解度を深め、習熟を図る。	岡田 明子	
18	5.20	8	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>1) ビデオ症例の提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初診から終診に至るまでの流れを説明できる。 ・初診時の問診事項を説明できる。 ・初診時に必要な診査内容と診査方法を説明できる。 ・全身（肉体的・精神的）・局所状態（顎顔面・口腔内）を的確に述べることができる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本
19	5.27	6	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>2) ビデオ症例の解説</p> <p>(1) チャートの記入確認・解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオによる症例の解説を受け、患者の問題点（全身的・局所的）を整理するために必要な情報を導くことができる。 ・POR 法によるカルテ記載の基本を説明できる。 ・カルテ記載の不備な点を修正し、説明できる。 	篠崎 貴弘	E-1-1) 診察の基本
20	5.27	7	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>2) ビデオ症例の解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオによる症例の解説を受け、患者の問題点を整理できる。 ・患者の問題点をカルテに POR 法で記載できる。 	紙本 篤	E-1-1) 診察の基本

				<p>説</p> <p>(1) チャートの記入確認・解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロブレムリスト、プロブレムマップを作成することができる。 ・初期治療計画をたてることができる。 		
21		5.27	8	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>2) ビデオ症例の解説</p> <p>(2) 歯周病治療の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保存、歯周治療に必要な検査法の選択、治療計画の立案ができる。 ・初期治療計画と実際の治療における治療計画の変更について説明できる。 ・歯周治療の流れと各処置の手技を説明できる。 	蓮池 聡	A-2 医学知識と問題対応能力
22		6.3	6	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>2) ビデオ症例の解説</p> <p>(3) 口腔外科治療の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全身疾患を有した患者さんの紹介状の書き方を説明できる。 ・全身疾患を有した患者さんの口腔外科治療における注意点について説明できる。 	篠塚 啓二	A-2 医学知識と問題対応能力
23		6.3	7	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>2) ビデオ症例の解説</p> <p>(4) 局部床義歯治療の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠補綴、少数歯欠損症例に必要な検査法の選択、治療計画の立案について説明できる。 ・初期治療計画と実際の治療における治療計画の変更について学ぶ。 ・欠損補綴治療の注意点について知識を再確認する。 	安田 裕康	A-2 医学知識と問題対応能力
24		6.3	8	<p>【対面】</p> <p>2. POS 型医療の実際</p> <p>3) ビデオ症例の解説、まとめ</p> <p>SOAP の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ症例について、実際に SOAP による記録ができる。 ・SOAP による記録の利点を述べることができる。 ・経過記録のまとめとして一覧表の作成法を理解して、その応用と利点を述べることができる。 	紙本 篤	E-1-1) 診察の基本
25		6.10	6	<p>【対面】</p> <p>3. 地域医療</p> <p>1) 地域包括ケアシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアの意義・概要について説明できる。 ・地域包括支援センターについて概説できる。 ・地域包括ケアにおける歯科医療の 	尾崎 哲則	A-2 医学知識と問題対応能力

					在り方について説明できる。		
26		6.10	7	【対面】 3. 地域医療 2) 地域での医療 介護連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・病診連携の仕組みを説明できる。 ・地域での医科歯科連携を説明できる。 ・周術期等での口腔機能管理について説明できる。 ・訪問診療の意義を説明できる。 	尾崎 哲則	A-2 医学知識 と問題対応能力
27		6.10	8	【対面】 3. 地域医療 3) 高齢者の生理的・病 理的变化や発達心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の全身・口腔機能変化を説明できる。 ・認知症の原因と症状について説明できる。 ・高齢者の社会的発達面での課題を説明できる。 ・高齢者に対する歯科診療時の対応について説明できる。 	中島 一郎	A-2 医学知識 と問題対応能力
28		6.17	6	【対面】 平常試験2 POS型医療の実際 等に対する平常試験	第1回から第27回までの理解度を 確認するため平常試験を行う。	岡田 明子	
29		6.17	7	【対面】 平常試験2 POS型医療の実際 等に対する平常試験	第1回から第27回までの理解度を 確認するため平常試験を行う。	岡田 明子	
30		6.17	8	【対面】 平常試験2の解説 POS型医療の実際 に対する平常試験 授業アンケート	・平常試験の解説によりフィードバック を行い、授業内容の理解度を深め、 習熟を図る。	岡田 明子	

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
POS 型医療の応用担当	1075	本吉 満
	904	尾崎 哲則
	924	中島 一郎
	1255	篠崎 貴弘
	1279	紙本 篤
	2298	蓮池 聡
	2969	安田 裕康
	3280	松本 邦史
	3611	小笹 佳奈